

テスト改革！

～ 氷上中のテストはどう変わったの？ ～

平成31年度（令和元年度）から氷上中学校は、1・2学期の中間テストを廃止しました。中間テストが廃止されたことばかりが目立ってしまい、様々な誤解を生み、新しく実施したことが伝わっていないように思います。このリーフレットを使って、テストのあり方について理解を深めてください。



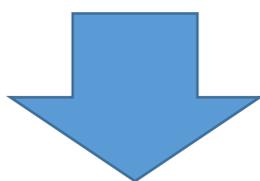
令和2年4月

丹波市立氷上中学校

テストはこのように変わりました

【変更前】

1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期		
中間テスト	期末テスト		課題テスト	中間テスト	期末テスト	課題テスト	実力テスト	学年末テスト



【変更後】

1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	
実力テスト	期末テスト		実力テスト	期末テスト		実力テスト	学年末テスト
1年間を通じて、小テストや単元テストが頻繁に実施されることになった							

※3年生のみ2学期始めに実力テストがもう1回実施されます。

それぞれのテストって？

テストの種類	説明
中間テスト	1・2学期に5教科のみ実施。 ※平成31年度から廃止。
期末テスト	各学期に全9教科で実施。
課題テスト	夏休み・冬休み明けに5教科で実施。 ※平成31年度から廃止。
実力テスト	5教科で実施。 ※業者作成のテストで平成31年度から2回増加。
単元テスト	各単元終了後に実施。 ※1年間に5・6回実施する教科もある。
小テスト	かなり短いテスト範囲で実施。50分間使用しない。

※小テストと単元テストは各教科によって実施方法が異なります。

なぜ、このように変えたのか

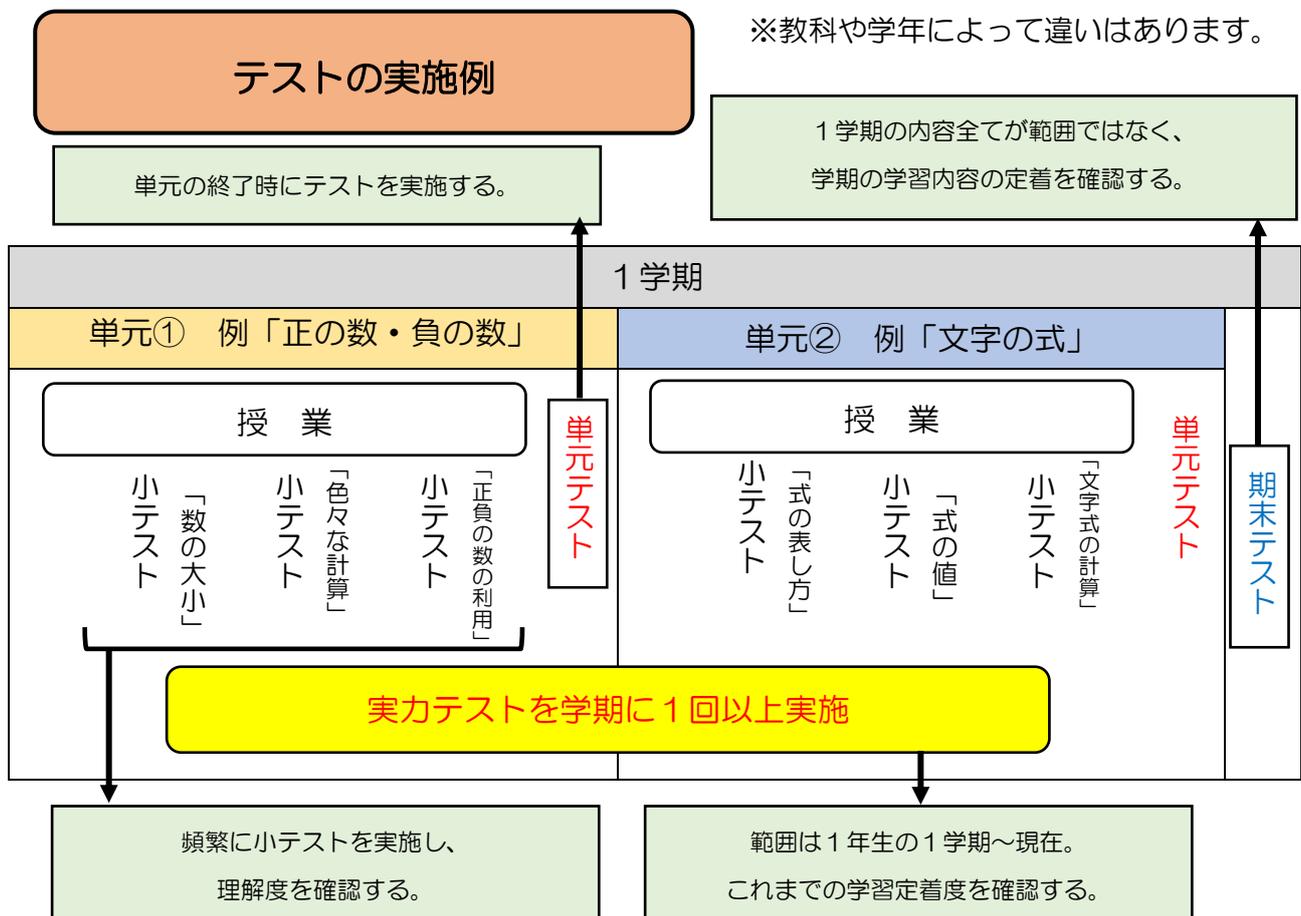
令和3年度から実施される学習指導要領では、育みたい資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間」の3つの柱に整理しています。そのため、氷上中学校では生徒が知識を活用して思考することや生徒が自らの学びを自覚し振り返る場面を既に授業の中に取り入れています。そこでは、資質・能力の3つの柱に基づいて、目標に準拠した評価を行わなければなりません。つまり、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的な評価の工夫が必要になります。

昨年から「中間テスト・課題テストをなくす」ことにしたのは、生徒たちに楽な思いをさせるわけでも、高校受験を軽視するわけでもありません。生徒たちを第一志望の高校へ進学させる上でも、何より学力を向上させ定着させるためには、定期テストを見直す必要があると判断したからです。その上で、全ての生徒が効率的に学力を高められるよう、学習システムの再構築を図りました。具体的には、中間テスト・課題テストをなくした代わりに単元テストや小テストを行っています。

例えば、社会科なら「近畿地方」の単元が終わればテスト、数学なら「連立方程式」の単元が終わればテストといった具合に、学習のまとまりごとに単元テストを実施します。また、その間に漢字テストや単語テスト、計算テストなどの小テストを授業中に頻繁に行います。さらに、年1回だった実力テストを3回(3年生は4回)に増やしました。実力テストは、出題範囲が広いいため長いスパンで学力を測ることができます。

そもそもテストを実施する目的は何でしょうか。決して通知表をつけるためだけのものではありません。「学力の定着を図る」ためのものであるはずです。

生徒たちは、授業で学んだことを小テストと単元テストで確認し、理解しきれていない部分を、そこですぐに復習するようにします。こうして、理解できていない部分を一つひとつ分かるように勉強を積み重ねて学力を高めていくことをねらいとしています。



テストのあり方に関するQ&A

生徒・保護者アンケートで様々な質問や意見をいただきました。ここでは、それらに基づいてQ&A形式で解説します。

Q1 「中間テストがなくなると、期末テストの範囲が広くなり、子どもへの負担が大きくなりませんか？」

A 「各学期の学習内容全てが期末テストの範囲になるとは限りません。単元テストで各単元の学習内容の定着度を確認しています。教科によっては、その単元テストの結果を受けて期末テストの範囲を絞っています。定着率の低かった分野や入試に出題されやすい分野などを期末テストで効果的に出題します。」

Q2 「期末テストと実力テストで評価が決まってしまうのでは？」

A 「そんなことはありません。小テストや単元テストも加味しています。普段からこつこつ学習するという点では小テストはとても大切です。また、テストだけで評価はしていません。授業に取り組む姿勢や提出物（課題やノート）、レポート、実技、作品など、総合的に評価しています。詳しくは『評価と通知表』の冊子をご覧ください。」

Q3 「単元テストの実施時間は一緒になければ意味がないのでは？」

A 「テストの出題内容によって異なります。同一日の同一時間に実施している教科もあります。また、練習プリントと同じ内容を出題することを生徒に説明し、出題される問題があらかじめわかっている状態でテストを実施することもあります。その場合には、同一時間にテストを実施する必要がなくなります。」

Q4 「実力テストでは範囲が広く、本当にわかっていないところを把握できないのでは？」

A 「実力テストの実施に関しても工夫します。例えば、期末テストと同じように大まかなテスト範囲を説明し、テスト計画表を配布して担任が学習の様子を把握します。業者が作成する実力テストは、より入試に近く、今年度から1・2年生が年間3回受験できるようになったことは生徒にとってメリットが大きいと考えています。」

Q5 「中間テスト・課題テストがないとほとんど自主学習をしなくなるのでは？」

A 「定期テスト前だけでなく、普段からこつこつ学習する生徒の育成を目指しています。そのためにも普段の小テストや単元ごとの単元テストを大切に、その1日や1週間で学習したことの定着を目指します。その結果が実力テストや期末テストで成果となって表れると考えます。」

中間テストを見送ったことに対して、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。それらのご意見をこれからの氷上中学校の教育活動が良くなるように役立てたいと考えています。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。